

製品名: PARP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02401**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.54mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 113 kDa; Observed MW: 116,89 kDa

抗原情報

遺伝子名	PARP1 PARP1; ADPRT; PPOL; Poly [ADP-ribose] polymerase 1; PARP-1; ADP-ribosyltransferase
別名	diphtheria toxin-like 1; ARTD1; NAD(+) ADP-ribosyltransferase 1; ADPRT 1; Poly[ADP-ribose] synthase 1
遺伝子 ID	142
SwissProt ID	P09874
免疫原	ヒト PARP の合成ペプチド

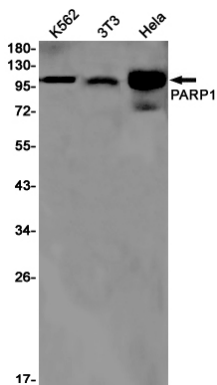
背景

塩基除去修復 (BER) 経路に関与し、クロマチン構造および DNA 代謝に関与する限られた数の受容体タンパク質のポリ (ADP-リボシル) 化を触媒する。この修飾は DNA 損傷後に起こり、DNA 鎖切断の修復につながる検出 / シグナル伝達経路における必須のステップとして機能している。

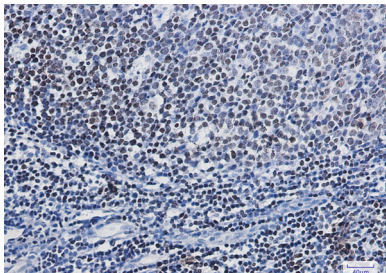
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

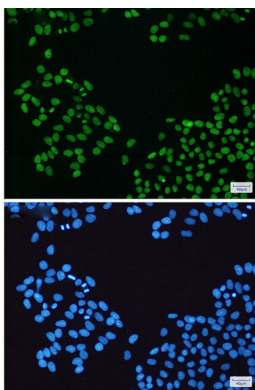
画像データ



PARP1 抗体を使用した K562、3T3、HeLa 溶解物中の PARP1 のウエスタン ブロット分析。



PARP1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



PARP1 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の PARP1 (緑) の免疫細胞化学分析